

ネットコンファレンスの日時、説明者他：

日時	2022年5月13日 16:00~17:00
説明者	取締役専務執行役員 CFO 中島 一
説明資料	2021年度決算の概要 及び 2022年度業績予想の概要

#### Q&A

##### ■ ライフ&ヘルスケア・ソリューションセグメント（ヘルスケアセグメント）

**Q1. ヘルスケアの21年3Q（10-12月）から21年4Q（1-3月）にかけて減益となる背景について説明して欲しい。また、業績予想から減益となった背景についても説明して欲しい。**

**A1.** 中国での春節影響により販売の減少及び原料価格上昇による交易条件の悪化により減益となりました。業績予想からも原料価格上昇等の影響により減益となりました。

**Q2. 22年度のライフ&ヘルスケア・ソリューションの事業動向について不織布の値上げの状況、オーラルケアの販売動向について説明して欲しい。**

**A2.** 不織布の原料価格上昇に伴う価格転嫁を実施していますが、足元さらなる原料価格上昇の影響をうけており、引き続き価格改定を行ってまいります。オーラルケアについては、デジタル化を含め販売は堅調に推移すると見込んでおります。

##### ■ モビリティソリューションセグメント（モビリティセグメント）

**Q3. モビリティの21年3Q（10-12月）から21年4Q（1-3月）にかけて増益となる背景について説明して欲しい。**

**A3.** 主に自動車生産台数の回復に伴うエラストマーや海外 PP コンパウンドでの数量要因で増益となりました。PP コンパウンドの地域別では北米、欧州、インドを中心に数量が増加し、全体では10%程度で数量が増加しました。

**Q4. 22年度の自動車生産台数の見通しはどの様に予測しているのか説明して欲しい。**

**A4.** グローバルの自動車生産台数は8,300万台程度を前提としています。足元の中国でのロックダウンによる影響等はございますが、その影響が解消されれば、以降自動車生産は回復すると見込んでいます。

##### ■ ICTソリューションセグメント

**Q5. 21年度ICTソリューションの21年3Q（10-12月）から21年4Q（1-3月）にかけて減益となる背景について説明して欲しい。**

**A5.** 中国での春節の影響により販売は減少しております。また、固定費についても、IFRSの会計基準により租税公課の計上時期は4Q一括となっているので費用が増加しています。

**Q6. 22年度のICTソリューションの事業動向について説明して欲しい。**

**A6.** アペルの新プラントは完工しており試運転を実施しています。2Q以降収益に貢献してくると考えています。EUVペリクルについても順調に立ち上がっており販売の増加を見込んでおります。イクロスについても市場成長並みの販売の増加を見込んでおります。一方、足元中国でのロックダウンの影響を受けスマートフォンの減産により、4~6月は影響が懸念されます。交易条件の改善は、包装用フィルムの価格改定による値上げやアペルにおいても高付加価値品へのシフトによる収益改善を図っています。ICT関連材料でも原料価格や物流費の上昇分についてもしっかりと価格改定に取り組んでおります。

##### ■ ベーシック&グリーン・マテリアルズセグメント

**Q7. 22年度の基盤素材（ベーシック&グリーン・マテリアルズ）における在庫評価や市況の動向について説明して欲しい。**

**A7.** ナフサ価格上昇により、21年度の在庫の評価及び販売価格フォーミュラの期ずれを合わせた影響は170億円の増

益となりました。一方、22年度についてはナフサ価格が大きく上昇しない前提ではございますので、在庫の評価及び販売価格フォーミュラの期ずれを合わせた影響は見込んでおりません。また、ビスフェノールAの海外市況は、21年度上期にかけ大きく上昇しましたが、下期にかけて下落しました。22年度につきましても21年度下期からさらなる下落を見込んでおります。

**Q8. 22年度のベーシック&グリーン・マテリアルズの販売数量増加について説明して欲しい。**

**A8.** 自動車生産台数や需要の回復を見込んでおります。また、本州化学を連結子会社化した影響も含まれております。

**Q9. 事業再編における22年度への影響について説明して欲しい。**

**A9.** 高純度テレフタル酸の生産停止については23年度なので影響はございません。ウレタン事業につきましては、21年度に減損を行いました。ウレタン事業の減損実施に伴い22年度は減価償却費等が減少する見込みです。

**■ 全社**

**Q10. 22年度の主な投融資の内容について説明して欲しい。**

**A10.** ポリプロピレンB&Sやメガネレンズモノマー増強等の21年度に意思決定をしている案件に加え生産維持・安全関連の投資等も含まれております。

以 上